おおぞら小稲刈り体験

令和８年9月24日（木）、秋晴れのもと北三沢地区のほ場にて三沢市立おおぞら小学校の稲刈り体験学習が行われました。

おおぞら小学校では、同地区の担い手である農業組合法人「フラップあぐり北三沢」のほ場をお借りして、JAおいらせ青年部、北三沢土地改良区にご協力いただき、これまで田植え体験や水質調査などを実施してきました。

今年は9月にかけて気温が平年より低く、稲の成熟が心配されましたが、おおぞら小学校の子どもたちが手植えした区画では黄金色に実っていました。

実った稲を前に子どもたちは、収穫を楽しみにしている様子でした。



<田植えの様子（5月）>



<水質調査の様子（7月）>



<開会式の様子>



＜稲刈りの様子＞

作業では５、６年生が田に入って稲を刈り取り、４年生が稲をコンバインまで運んでいました。
子どもたちは、稲の管理をした方々へ感謝の気持ちを込めながら楽しく作業に勤しんでいました。

閉会式では、「6年生最後の稲刈り。みんなで収穫できて楽しかった。」と感想を述べ、最後にはみんなで携わっていただいた方々へ感謝を述べていました。

春の田植えから稲刈りまでを体験して、働くことの楽しさや苦労、食べ物の大切さを学ぶことができたと思います。



＜稲を運ぶ様子＞





＜コンバインで脱穀＞



＜閉会式の様子＞



三沢市長、三沢米軍基地の
司令官親子も参加されました

＜６年生の集合写真＞

関連事業：中山間地域ふるさと活性化事業（通称：ふる水基金、棚田基金）
https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/noson/hurumizutanada.html